

2023.12.13 待降節の話③

皆さん、おはようございます。3日後にはクリスマス会です。今日から作業も本格化しますが、クリスマスタブローや共同祈願の準備、あるいはステンドグラスやプレゼント用のマフラーの作製なども進んでいることと思います。クリスマス会で皆さんの努力の成果を拝見できることを楽しみにしています。

さて、しばらく前ですが、NHK放送文化研究所が「日本人の好きな言葉」は何かについて調査したそうです。そして、「日本人の好きな言葉」で第1位になったのは、皆さん、何だと思いませんか？ それは「ありがとう」という言葉で、全体の67%を占めたそうです。

確かに、相手の人から「ありがとう」と言ってもらえれば、自分がしたことをその人が受け入れてくれたという嬉しい気持ちになります。また、逆に、自分が相手の人に「ありがとう」と言って、相手がにっこりとうなずいてくれたら、何か心が通じたような、暖かい気持ちになりますね。

現代は、何事につけても、相手を批判し、クレームを突き付けることが当たり前の時代です。もちろん、不正や誤りに対して抗議の声をあげ、あるいは自分の考えや正しい権利を主張することは大切なことです。でも、今、自分は周囲の人々、例えば、お父さんやお母さん、先生、あるいは友達から、多くのものを与えてもらっている、そのことに気づき、「ありがとう」と感謝することもとても大切だと思います。

クリスマスは、神様が私たちに与えてくださった贈り物に心を向ける時季です。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」これまで、この聖書の言葉を紹介してきました。この「独り子イエス様を信じる」とは、神様が御子イエス様を与えてくださったことに「ありがとう」と言い、このイエス様が私の罪のために十字架で亡くなられたことを感謝することです。「感謝する」とは、相手の人の、私への愛や善意を信じ、受け入れるということです。

私たち人間は、ともすれば、感謝よりも不平不満の方がずっと多いものです。でも、このクリスマスの時季に、神様に感謝すると共に、あなたの周囲の人々や身の回りの出来事で、あなたが感謝できることを探してみてもどうでしょうか。積極的に探せば、感謝できることはいくつも見つかると思いますよ。私の話の後、30秒ぐらいの黙想の時間がありますから、その時に、心の中で、今年一年の「ありがとう探し」をしてみてください。そして、その「ありがとう」の気持ちを、相手の人にも伝えることができれば、素晴らしいですね。

それでは、土曜日のクリスマス会を楽しみにしています。ありがとうございました。